

令和5年度 沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター及び
沖縄バイオ産業振興センター指定管理者制度運用委員会における
モニタリングの検証結果について
(令和4年度実績分)

1. 施設名：沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター
2. 開催日時：令和5年7月19日（水） 14:00-16:00
3. 開催場所：沖縄県庁1F 第1、第2会議室
4. 出席者：委員4人中 4人出席
(会長) 琉球大学熱帯生物圏研究センター 准教授 新里 尚也
(委員) 渡嘉敷唯夫税理士事務所 税理士 清川 美智子
(委員) 株式会社EM研究機構 執行取締役 新谷 正樹
(委員) 株式会社カタリスト琉球 代表取締役 稲福 幸子
(事務局) ものづくり振興課
(指定管理者) バイオセンター運営共同体
5. 検証事項：沖縄健康バイオテクノロジー研究開発センター（令和4年度実績）
に係るモニタリングの実施結果
6. 検証内容
 - (1) モニタリングは適正に行われているか
 - (2) 指定管理者に対する県の指導・助言は適切に行われているか
 - (3) 利用者アンケートや苦情に対する指定管理者や県の対応は適切に行われているか
7. 検証方法
 - (1) 事務局によるモニタリングの実施結果の報告
 - (2) 委員からの質疑・意見
8. 検証結果
 - ・施設の管理運営は概ね適切になされている。
9. 主な質疑・意見

質疑1：機器等の更新、修繕の優先順位について。
回答1：財源及び利用率等の費用対効果、入居者からのニーズ等を勘案して優先的に更新が必要な機器を検討する。修繕に関しては緊急性も考慮して検討している。

意見1：機器利用については利便性と管理のバランスを保ちつつ、利用者の利便性向上に向けた取り組みを検討する必要がある。

意見2：機器利用については外部利用者にもアンケート調査を行い、ニーズを把握する必要がある。

意見3：個人情報の管理は書類だけでなく、PC等も対象に適切な情報管理に努める必要がある。
10. 会議の公開状況：公開